

英語活動学習指導案

令和4年2月15日(火) 第3校時 第3学年3組(プレイルーム)

【単元】もっとくわしく！自分のことをプレゼンテーション！

考察	知識及び技能	思考力, 判断力, 表現力等	学びに向かう力, 人間性等
育成を目指す資質能力	<ul style="list-style-type: none"> 趣味や宝物, 特技の発表をする際に用いる英語の音声についての気付きや慣れ親しみ 	<ul style="list-style-type: none"> 趣味や宝物, 特技に応じて, 英語表現の選択・組合せをし, 英語を用いて相手に分かりやすく自らの考えを伝える力 	<ul style="list-style-type: none"> 英語を用いて相手に伝わるように工夫しながら, 趣味や宝物, 特技を伝えようとする態度
児童の実態	<ul style="list-style-type: none"> これまでに好きな物や嫌いな物の発表をする際に用いる"I like~, but I don't like ~."等の英語表現に慣れ親しんできている。 宝物を伝える際に用いる"I have~."や, 特技を伝える際に用いる助動詞"can"について初めて学習する。 	<ul style="list-style-type: none"> 好みに応じて, "I like~, but I don't like ~."の英語表現の選択・組合せをし, 好きなスポーツや動物について伝えることができるようになってきている。 趣味や宝物, 特技の発表をすることは, 自分のことに応じて, 名詞だけでなく動詞や助動詞の選択・組合せをする必要があるため, 伝えることが難しい子どももいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 英語を用いて相手に伝わるように工夫しながら, 好きな物や嫌いな物を発表しようとしてきている。 自分の伝える英語に自信をもてないために, 友達の話したことに"Clear voice, please."等, 反応できなかったり, 相手の反応を得ても, 英語表現の改善の仕方が分からなかったりする子どももいる。
価値	<ul style="list-style-type: none"> A L Tとは, 4月から英語の授業以外にも給食の配膳のとき等, 様々な場面で触れ合う機会をもってきた。しかし, A L Tに話しかけるときにためらったり, 日本語で話しかけたりする子どもが多い。また, A L T自身も, 約100人いる3年生のことをまだあまり知らないというのが現状である。そこで, 既習や新出の英語表現を用いて, A L Tに向けて趣味や宝物, 特技を伝えることは, 自分のことをもっと知ってほしいという思いを高めることができる。 宝物や特技を扱うことは, 身の回りの物やスポーツを表す英語と日本語の音声やリズムとの相違点に気付ける。 ゲームで繰り返し英語表現を聞いたり発音したりすることは, "I have~. I can~."の英語表現に慣れ親しめる。 	<ul style="list-style-type: none"> 趣味や宝物, 特技を発表することは, "I like~. I have~. I can~."の英語表現の選択・組合せをして伝えられる。 ウェビング図を用いてグループ内で英語表現を構想することは, 友達同士で質問や助言をし合えるため, 趣味や宝物, 特技の発表をする際に用いる英語表現の選択・組合せができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 英語表現を分かりやすくする視点として, 「好きな物」「様子」「色」を提示することは, 英語表現を改善するきっかけを得ることができる。 英語表現や伝え方が分かりやすい3グループを決めることは, 同じグループの友達の英語表現を改善しようという意欲を高められる。
見方・考え方	<p>英語やその背景にある文化を捉え, A L Tに自分のことを分かりやすく伝えるというコミュニケーションを図る目的, 趣味や宝物, 特技を発表するという場面, 状況及び相手の反応に応じて, 英語表現や伝え方の選択・組合せをすること。</p>		
今後の学習	<p>5年「自己紹介をしよう」において, "I like~, but I don't like~. I have~. I can~."等の英語表現を用いて, 好きな物や嫌いな物, 宝物や特技を発表する学習へと発展していく。</p>		

指導と評価の計画

目標	A L Tに自分のことをもっと知ってもらうために、相手に伝わるように工夫しながら、趣味や宝物、特技の発表をする。			
評価 規準	(①知・技) 身の回りの物やスポーツを表す英語と日本語の音声やリズムの相違点に気付いている。 (②思・判・表) 英語表現の選択・組合せをし、趣味や宝物、特技の発表をしている。 (③主体的態度) A L Tに伝わるように工夫しながら、英語表現を用いて趣味や宝物、特技の発表をしようとしている。			
言語 事項	I like books/video games/music/TV drama/You Tube/movies. I have a (an) piano/snowboard/pet/racket/stuffed toy/bicycle. I can do/play/ski/snowboard/skateboard/draw/swim/use~. It's cool/cute/big/small/beautiful/great/expensive/cheap/fun/exciting.			
過程	時間	学習活動	指導上の留意点	
つか む	1	○子どもたち一人一人のことをもっと知りたいというA L Tの要望と趣味や宝物、特技のモデルを見聞きし、単元全体の課題 (Unit Goal) をつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> Unit Goal ギャヴィン先生に自分のことをくわしくつたえられるように、止まらずにはっきりと趣味や宝物、特技の発表をしよう </div>	○伝えられるようになりたい内容やできるようにしたいことをもてるように、A L Tがモデルを演示する際に、趣味として本の画像を提示したり、特技としてジャグリングをしたりする。	◇A L Tに自分のことをもっと知ってもらうために、英語で伝えられるようになりたい内容やできるようにしたいことを発言したり記述したりしている。 <発言・Try シート③>
	1	○身の回りの物を表す英語表現を用いた「マッチングゲーム」をし、"I like~. I have~."を用いて、趣味や宝物の発表をする。	○身の回りの物を表す英語表現の英語の音声と日本語の音声の相違点に気付けるように、発音をする際に、英語と日本語の音声やリズムを比較して提示する。	◇身の回りの物を表す英語表現を英語の音声で発音している。 <行動①>
追 究 す る	1	○動詞とスポーツを表す英語表現を用いた「ジェスチャーゲーム」をし、"I can~."を用いて、特技の発表をする。	○スポーツを表す英語表現の英語の音声を繰り返し聞いたり発音したりできるように、ジェスチャーゲームで用いるカードを用意する。	◇スポーツを表す英語表現を英語の音声で発音している。 <行動①>
	1	○"I like~. I have~. I can~. It's~."を用いて、趣味や宝物、特技を伝える英語表現を改善する。(本時)	○自分の英語表現を改善するきっかけを得られるように、改善する視点として「好きな物」「様子」「色」を提示し、ウェビング図を用いてグループ内で英語表現を構想する機会を設定する。	◇好きな物や様子、色を加えて英語表現を改善して発表をしている。 <行動②>
ま と め る	1	○A L Tに趣味や宝物、特技の発表をする。	○趣味や宝物、特技の発表をする英語表現や伝え方の改善点を確認できるように、前時に記述した Try シートを確認する機会を設定する。	◇A L Tと目線を合わせたり宝物を指したりしながら、聞き取りやすい声の大きさや速さで趣味や宝物、特技の発表をしようとしている。 <行動①②③>

本時の学習（4 / 5 時間目）

ねらい グループ内で英語表現を構想し、相手を替えて繰り返し伝えることを通して、ALTに分かりやすい英語表現に改善し、趣味や宝物、特技の発表ができる。

評価項目 好きな物や様子，色を加えて英語表現を改善して発表をしている。

<行動②>

学習活動と子どもの意識	指導上の留意点
<p>1 本時のめあてをつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> サッカーができることは，"I can play soccer."と伝えるのだったな。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> 今日は，自分の発表にもっと情報を加えて分かりやすい発表ができるようになりたいな。 (目的意識) </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>めあて：えい語で話す内ようをくわえて，より分かりやすい発表にしよう</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○特技を表す英語表現の英語の音声を確認できるように，大型モニターを用いて英語表現を提示し，ALTの後に続いて発音するよう促す。 ○自分の発表に様子や色を加えて英語表現を改善するという本時の見通しをもてるように，JTEが趣味や宝物，特技の発表をするモデルを演示し，話の内容や分かりやすい点を問いかける。
<p>2 趣味や宝物，特技の発表をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> サッカーのユニフォームは，青色だから，"I have a soccer uniform. It's blue."と伝えてみよう。その他に，どんな情報を加えることができるかな。 友達から「サッカーは楽しい？」と質問されたよ。「楽しい」は英語で何と言うのだったかな。 そうだった。「楽しい」は，英語で"fun."だったな。次は，"I can play soccer. It's fun."と伝えてみよう。 友達が持っているくまのぬいぐるみは，大きくてかわいいから，It's big and cute."という情報を加えてみてはどうか。 友達は，発表で好きなゲームソフトまで言っていたな。ぼくは，好きなサッカーチームを加えて，"I like Manchester United."と伝えてみよう。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・前の時間に発表をしたときより，サッカーのユニフォームの色や好きなサッカーチーム，サッカーが楽しいということを加えて分かりやすくなったな。 (目的を達成した意識) </div> <p>3 本時の学習の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> まだ，発表が止まってしまうときがあるから，止まらずに発表ができるようになりたいな。 次の時間は，みんなの前でも緊張しないでギャヴィン先生に分かりやすく発表をしたいな。 	<ul style="list-style-type: none"> ○趣味や宝物，特技の発表をする際に必要な英語表現を確認できるように，英語表現を問いかける。 ○自分の発表をより分かりやすくするために必要な内容に気付けるように，「好きな物」「様子」「色」の視点を提示し，ウェビング図に書き加えるよう促す。 ○好きな物や様子，色を加える際に必要な英語表現を確認できるように，ALTがモデルで用いていた英語表現を問いかける。 ○ALTの心に残る発表となるように，グループ内で趣味や宝物，特技の発表をし，聞き手は，知りたい内容についての質問や加えられる英語表現についての助言をするよう促す。 ○質問をする英語表現を確認できるように，友達にした質問を問いかける。 ○聞き手からより多くの質問や助言を得て，趣味や宝物，特技の発表をより分かりやすくてできるように，多くの人に発表をするよう促す。 ○好きな物や様子，色を加えることで発表が分かりやすくなることに気付けるように，好きな物や様子，色を加えて発表をしている児童のモデルの紹介をし，話の内容のよさを問いかける。 ○趣味や宝物，特技の発表をする英語表現に自信をもてるように，好きな物や様子，色を加えて伝えている子どもを称賛する。 ○英語表現を改善して趣味や宝物，特技の発表をした成果や改善点に気付けるように，「できるようになったことや分かったこと」「必要なこと」を視点として，Tryシートに記述するよう促す。 ○次時の学習で，ALTに趣味や宝物，特技の発表をするという見通しをもてるように，Unit Listを提示し，次時に取り組むことを問いかける。